

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サポートセンターとらいあぐる可部		
○保護者評価実施期間	令和7年1月16日		～ 令和7年1月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和7年1月15日		～ 令和7年1月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・就労準備型の放課後デイサービスである ・系列に就労継続支援A型、B型、地域密着型通所介護施設、カフェ、農園がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・系列の就労継続支援A型、B型が行っている椎茸の袋詰めや産直市での販売準備、自然体験プログラムの一環である農園で収穫した野菜を地域密着型通所介護施設への販売、カフェで店員体験などを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休みにしか実施できていない為、土曜日にも実施できるように検討していく ・自然体験プログラムの農園も収穫だけではなく、育てる工程も経験できるように検討していく
2	<ul style="list-style-type: none"> ・療育内容によって部屋の使い分けができるようになった 	<ul style="list-style-type: none"> ・静の活動は机上課題やSSTなど行い、動の活動はサーキットトレーニングや風船バレーなど身体を使った活動をしている ・自由時間に身体を使って遊びたい児童が我慢をする必要がなくなり、遊びに他児を募ることや、意見を聞く、まとめる、時間の約束も積極的にできるように促している 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童で決めた「別室を使用する時の約束」を提示し、壁に貼るなど意識を持たせる ・療育で使用する物が乱雑に置いてあり整理整頓を行い、児童が遊びで使用しても良い物、いけない物を明確にし、児童に周知する
3	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職による専門的な視点からのアプローチがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と接する中で嚙下や発語に関わる部分を判断し、それを補う個別活動や集団活動を考案、実践している 	<ul style="list-style-type: none"> ・考案した活動を定期的に療育活動にも取り入れていく ・保護者にも周知していく取り組みを行い、自宅でも療育の継続とアプローチの回数を増やしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応等の周知ができていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所としてのマニュアル等がない ・避難訓練を行った際の児童の様子を保護者に細かく報告していない 	<ul style="list-style-type: none"> ・早急に事業所のマニュアルを作成する ・保護者全員に緊急連絡先を記入してもらい、災害時の避難パターンを周知する ・避難訓練を行った時は様子を写真を含めた報告をする
2	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間過ごす時や雨天時などの代替案が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由時間に児童が個々で遊びたい事があり、職員もそれに沿っている為、時間が過ぎてしまっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所や関連サイトの情報収集をする ・期限を決めて職員1人1人に考えてもらい、担当制にして実践していく
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングの時間を確保できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援前後に1日の出来事を話すことが多く、それで済ませてしまっている ・以前、ミーティングを行った際に普段は活発に話し合いができていたのに、緊張するのか意見が全く出たことがあった 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は時間を確保して定期的にミーティングを行う

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	サポートセンターとらいあぐる可部					公表日	2025年 2月 13日	
					利用児童数	17名		回収数 15 (兄弟児含む)
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1		2	運動できるスペースがあり、しっかり体を動かせるようになって、とても良いと思う。	運動系の療育活動時や自由時間に体を動かしたい時など、今後も併用していきます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1		4			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1		4	床が痛くないようになっていると思う。	机、椅子がある事で机上課題等をすることの意識づけはできているが、今後は棚の整理などわかりやすいようにしていきます	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	2		1	いつも皆で掃除やアルコール消毒をしている場面を見ている。	掃除の時間を設けているが、時間的に難しい場合もあり職員が最終的に掃除を行っています	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			2			
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15						
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11				4		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12				3		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10	1	1	3			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14			1			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14			1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2		5			
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1		2			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13				2		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	5	5			
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13				2		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13			2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	2		3	ラインがあってほしい。	活動カレンダーを提示していますが、通信はない為、ラインを含めて検討していきます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7		1	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14			1	デイでしか会えない友達もいて、会えるのを楽しみにしている。帰宅すると〇〇君と遊んだと報告をしてくれている。	土曜日、長期休みなど利用児童が経験値を高められる場所に外出し、クッキング、おやつ作りなどを今後もおこなっていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	14			1	連絡帳や直接、話を聞いてもらえる機会があり、その都度、相談できる体制ができています。	児童の様子と保護者からの情報を連絡帳、電話、送迎時にキャッチし良い支援に繋がっていきます、

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	サポートセンターとらいあんぐる可部				公表日	2025年 2月 13日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	療育内容や利用児童の人数、自由時間の内容によって部屋を使い分けている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		外出時は多動児に1対1で対応できるように配置を考えている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	ほぼ段差がなく、床には危険がないようにクッション性がある物を敷いてある	細々した物が多い為、児童が使いやすいように物の整理整頓をしていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	静かに過ごしたい児童と身体を動かして遊びたい児童が部屋を分けて過ごせるようになっており、帰る前に児童も掃除をしている	細々した物が多い為、児童が使いやすいように物の整理整頓をしていく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		児童が1人になりたい時やクールダウンしたい時など個別の部屋で自由に過ごせるスペースがある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2		明確な目標設定や振り返りの内容が不十分な為、きちんと確立していく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		今年度の保護者の評価表の内容を職員で共有し、改善策を検討していく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員1人1人が意見などを言いやすい環境になっており、その後すぐに検討されて改善されている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2		同系列内の施設の情報がもう少し共有できるような環境を整える
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		職員の意見を聞き、プログラムに反映されて、その都度、公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			保護者と面談をすることを検討していく
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員で話し合い、情報共有をしている	毎日の支援後に話すか、今後は職員全員参加のミーティングを定期的に開催する
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		職員で話し合い、情報共有をしている	毎日の支援後に話すか、今後は職員全員参加のミーティングを定期的に開催する
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		職員全員に意見を聞き、活動の中に取り入れている	日にちを職員に割り振りし、1人1人が療育内容を決めて責任を持って実践していく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		職員全員に意見を聞き、活動の中に取り入れている	日にちを職員に割り振りし、1人1人が療育内容を決めて責任を持って実践していく

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	個別活動と集団活動はそれぞれ組み合わせ提供しており、集団活動は事前に予定表に提示している活動を行っている	個別活動を児童に合わせた内容を増やし、実践していく、
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	その日の療育活動の詳細を話し、職員の役割分担を説明し、それに基づいて支援を行っている	定期的にミーティングを開催し、事前にイメージできるようにしていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		その日に気付いた点などの報告、どうすべきか等の話し合いをしっかりと行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		個別支援記録を記入し、その時に気付いた事、疑問に思った事はその日に話し合うようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	管理者、児童発達支援管理責任者で定期的に検討している	定期的にミーティングを開催し、職員全員で検討する
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	職員の意見を押し付けるのではなく、児童の気持ちに寄り添って支援していくように心掛けている	もう少し自己決定する場面を増やしていく
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	管理者、児童発達支援管理責任者が参加し、内容は書面化し、職員に周知している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3	気になる児童には学校に連絡、来校し、担任教諭と面談の場を設けている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校別の下校表を確認しスムーズに送迎ができるように日々、調整を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3	現時点では対象児童は在籍していない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	土曜日、長期休み、早帰りの日など地域の公園に行ったり、同系列の放課後デイサービスと合同で活動を行っている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時や電話などで日々の様子を伝え、気になる事はお互いに相談している	保護者と面談することを検討していく
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		新規利用児の契約時に書面を用いて行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者の意向、希望の聞き取り書を記入してもらい、児童にも聞き取りを行っている	保護者と面談することを検討していく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		送迎時や来所時に保護者に説明し、同意をいただいている	保護者と面談することを検討していく
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時や電話で伝えらえた事は職員ですぐに共有、検討し、保護者に伝えるようにしている	保護者と面談することを検討していく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		6	コロナなどの感染症もある為、保護者会は開催していない	

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情があった場合は即座に職員に報告し、迅速に対応策を考え、保護者、児童に伝えている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	通信ではなく、利用予定表に毎日の療育内容、行事を記入し保護者に配布している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	行事の際に地域の高齢者施設や放課後デイサービス事業所より無料弁当やプレゼント交換などの交流があった	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	行事で防災センターに行き、職員、児童共に災害時の知識を学び訓練を行った	日々の療育活動にもできる内容を考え、取り入れていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		新規利用児の契約時には保護者に確認を行い、利用中の児童は連絡帳、電話、送迎時に確認をしている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	現在、食物アレルギーの児童は在籍していないが、契約時に保護者にアレルギーの有無を書面で確認している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	ヒヤリハット事案が起きてしまった時は報告があり、対応策を職員で検討、共有している	1日の中でヒヤリハットの振り返りの時間を作り、報告書作成に繋げていく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的に行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			現時点では身体拘束に該当する児童はいないが、どのような場面が必要なのかを職員で情報共有を行う	